

## 設立の経緯

- ▶2003年3月、農林水産省は第3回世界水フォーラム(京都)の一環として、国連食糧農業機関(FAO)と共催で、農業に関わる世界各国の大臣が参加する「水と食と農」大臣会議を開催。
- ▶大臣会議において、「食料安全保障と貧困軽減」、「持続可能な水利用」、「パートナーシップ」の3つのチャレンジ(挑戦)を掲げた大臣勧告が採択。
- ▶この3つのチャレンジの達成に向け、2004年11月、農林水産省が中心となり、アジア・モンスーン地域を中心に水田農業を実施している国々及び関係機関が参加する「国際水田・水環境ネットワーク(INWEPF)」を創設。

### メンバー

#### ◆メンバー国：

日本、韓国、中国、マレーシア、カンボジア、スリランカ、ネパール、タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、ラオス、バングラデシュ、エジプト、インド、パキスタン、イタリア、ケニア(19カ国)

#### ◆国際機関：

FAO(国連食糧農業機関)、IWMI(国際水管理研究所)、MRC(メコン河委員会)

### 連携機関

ICID(国際かんがい排水委員会)、PAWEES(国際水田・水環境工学会)、WB(世界銀行)、ADB(アジア開発銀行)、IFAD(国際農業開発基金)等



# INWEPF活動経緯

第3回世界水フォーラム(2003年日本)  
「水と食と農 大臣会議」

第1回設立会議(2004年日本)

第2回会議(2005年韓国)

第4回世界水フォーラム(2006年メキシコ)

第3回会議(2006年マレーシア)

第4回会議(2007年タイ)

第1回アジア・太平洋水サミット  
(2007年日本)

第5回会議(2008年インドネシア)

第5回世界水フォーラム(2009年トルコ)

第6回会議(2009年日本)

第7回会議(2010年韓国)

第8回会議(2011年マレーシア)

第6回世界水フォーラム(2012年フランス)

第9回会議(2012年ミャンマー)

第10回会議(2013年タイ)

第2回アジア・太平洋水サミット(2013年タイ)

第11回会議(2014年ベトナム)

第7回世界水フォーラム(2015年韓国)

第12回会議(2015年スリランカ)

第13回会議(2016年カンボジア)

第14回会議(2017年フィリピン)

第3回アジア・太平洋水サミット  
(2017年ミャンマー)

第8回世界水フォーラム(2018年ブラジル)

第15回会議(2018年日本(奈良))

第16回会議(2019年韓国)

第17回会議(2021年スリランカ)

第9回世界水フォーラム(2022年セネガル、ダカール)

第4回アジア・太平洋水サミット  
(2022年日本(熊本))

第18回会議(2023年エジプト)

第10回世界水フォーラム(2024年インドネシア)

第19回会議(2024年タイ)

第20回会議(2025年日本(滋賀))



第1回運営会議の様子

▶ WWF4の参加と「農業用水の多  
様性及び多面的機能」の情報発  
信を決定

・セッションの開催、水パ  
リオンへの出展などを実施。



▶ ワーキンググループ設立:  
「WG1水田の多面的機能」、  
「WG2政策等の策定」、  
「WG3水田の多面的機能  
の貨幣換算評価」

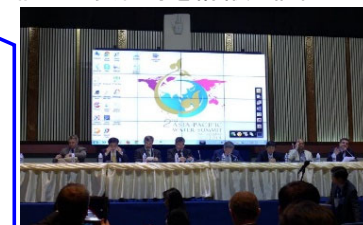
▶ WGの再編

▶ INWEPF内に  
タスクフォースを設置

・アジア太平洋地域セッションの  
パネルディスカッションに参加、  
INWEPFからのメッセージ発信。



・FAOとUNESCAPが主催する  
セッションに参加し、多面的機  
能の重要性等を情報発信。



・ワークショップを開催し、多  
面的機能の重要性等を情報発信。



・INWEPF第5フェーズ戦略に  
ついて議論・合意  
・ICID-PAWEES-INWEPF連携  
ワークショップを開催



▶ WGの再編  
(現在のWG)

・分科会にINWEPF代表が参  
加し、メッセージを発表。



・水の多面的利用と機能に係  
るセッションをFAOと共同開催。

